

新足柄土産！吉田島レモンサイダーを新発売！ ～高校生が栽培したレモンを使用したご当地サイダー～

森永牛乳小田原販売株式会社（以下「小田原販売」とする）は、神奈川県立吉田島総合高等学校（以下「吉田島総合」とする）の生徒たちが栽培、収穫したレモンを使用した「吉田島レモンサイダー」を、平成 27 年 8 月から販売開始いたします。

吉田島レモンサイダー開発の背景

小田原販売は、これまで牛乳配達、自動販売機のオペレーター、アイスクリーム・プリンなどの卸売を主に行ってきました。さらに近年、お客様からの“ご当地商品”の要望増加により片浦レモンジェラートや足柄茶など、地元食品の取り扱いを増やしてまいりました。

そんな折、弊社会長、社長、食生活アドバイザーと親子 3 代の出身校である吉田島総合から、校内で栽培、収穫した農産物を使った新しい足柄土産の開発、販売を打診されました。小田原販売は、吉田島総合で栽培されたレモンに注目し、飲料「吉田島レモンサイダー」を共同開発する運びとなりました。

吉田島レモンサイダーの特長

1. 高校生が栽培、収穫した農産物を使用

吉田島総合は創立 108 年の伝統校であり、以前は西湘地区唯一の農業高校でした。現在の総合高校となってからも引き続き農業、食品系列の授業展開を行っており、農業クラブでは関東ブロック代表として全国大会へ出場する生徒も在籍しています。

当サイダーは、吉田島総合で栽培、収穫されたレモンを使用しています。これまで同校で栽培、収穫された農産物は主に校内で販売されてきましたが、時間割や休日の関係で収穫適期をはずれた農産物も発生してきました。こうした農産物を有効活用するべく、今回は吉田島総合の果樹部門で収穫されたレモンを使った商品開発を行いました。

2. 高校生の意見を取り入れた商品開発

サイダーの商品化にあたり、製品のパッケージデザインや広告にも高校生の意見を積極的に取り入れました。ラベルデザインと商品名は、吉田島総合の園芸デザイン系列で科目「果樹」を選択している生徒たちの意見を聞き、選択しました。さらに、吉田島総合のシンボルである稲穂をモチーフとした校章も付け加えることにしました。

3. 西湘発の 6 次産業化モデルを確立

西湘地区では、小田原をはじめ各地で果樹栽培が盛んです。しかし、現状でこうした果樹の生産物を使った商品が豊富とは言えません。当サイダーは、弊社の食生活アドバイザーも開発に加わり、西湘地区の農産物を使った新たな足柄土産として情報発信していく予定です。今後は、地域の農産物を積極的に取り上げ、西湘地区全体のイメージアップにつなげていきます。

吉田島レモンサイダーの概要

名称 : 吉田島レモンサイダー
発売開始日 : 平成 27 年 8 月
販売価格 : 参考価格 250 円（税別）
発売元 : 森永牛乳小田原販売株式会社

本プレスリリースに関する問い合わせ先

森永牛乳小田原販売株式会社 担当：守屋佑一
電話：0465-34-6423（会社）
0465-34-6425（Fax）
080-5658-5119（担当者）
Mail：mori19880519@gmail.com

報道関係者各位
プレスリリース

平成 27 年 8 月
森永牛乳小田原販売株式会社